

株式会社横浜アリーナ

第32期 事業報告

平成29年 1月 1日から
平成29年 3月31日まで

— 目次 —

- 1) 事業報告
- 2) 1～3月イベント分野別稼働実績

事業報告

平成29年1月 1日から

平成29年3月31日まで

株式会社横浜アリーナ

事業の経過および成果

当社は平成29年3月28日付けで、キリンホールディングス株式会社から西武鉄道株式会社へ親会社に変更となりました。この親会社の異動に伴い、株式会社西武ホールディングス及び西武鉄道株式会社の決算日と統一するために、当事業年度より決算日を12月31日から3月31日に変更しました。従って、当事業年度は、1月1日から3月31日にかけての3か月のみであり、かつ前年同時期は大規模改修工事期間中であつたため、前年と比較すると収益及び費用の計上は大幅に増加しております。

平成29年1月-3月期の業績につきましては、稼働日数は77日、稼働率は85.6%となりました。当期の来場者数は、約63万人となり、平成元年4月の開業からの来場者数は累計で約4,500万人に達しました。

そして施設の安全安心に向けた取り組みを継続すると同時に、PSI(Positive and Speedy with Integrity)プロジェクトを中心に、平成27年度に策定したコーポレートメッセージ「その思い、つながる。」をはじめとする企業理念・ミッション等の浸透策・アクティブな企業風土の実現に向けた取り組みや、広報活動、および地域に根差した活動を、前期に引き続き実施してまいりました。

業績につきましては、売上高が624百万円(前年80百万円、対前年676.1%増)、売上原価は211百万円(前年62百万円、対前年比237.5%増)、販売費及び一般管理費は、72百万円(前年70百万円、対前年3.8%増)となりました。

これらにより当期の損益は、340百万円(前年-52百万円、対前年750.1%増)を計上し、経常利益では342百万円(前年-47百万円、対前年820.4%増)、当期純利益229百万円(前年-47百万円、対前年583.6%増)となりました。

以上

2017年1～3月 イベント分野別稼働実績

2017年 実績		ショー コンサート	集会 式典	展示 物販	スポーツ	合計	稼働率 (%)
1～3月	件数	19	1	1	1	22	85.6%
	日数	65	2	3	7	77	
	本番日	38	1	2	3	44	
	構成比	84.4%	2.6%	3.9%	9.1%	100.0%	

(参考)

対前年 増減数	件数	16	0	1	1	18	73.5%	2015年 稼働率
	日数	56	0	3	7	66		
	本番日	33	0	2	3	38		
	構成比	2.6%	-15.6%	3.9%	9.1%	0.0%		
2016年 1～3月(注)	件数	3	1	0	0	4	12.1%	77.8%
	日数	9	2	0	0	11		
	本番日	5	1	0	0	6		
	構成比	81.8%	18.2%	0.0%	0.0%	100.0%		

(注)2016年1～3月期のうち、1月12日～3月31日までは大規模改修工事に伴う休業期間となっております。